

製品名: CyPB ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09681**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	24kDa

抗原情報

遺伝子名	PPIB
別名	PPIB; CYPB; Peptidyl-prolyl cis-trans isomerase B; PPIase B; CYP-S1; Cyclophilin B; Rotamase B; S-cyclophilin; SCYLP
遺伝子 ID	5479.0
SwissProt ID	P23284
免疫原	抗血清はヒト PPIB の C 末端領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 151-200

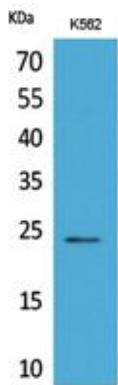
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質はシクロスポリン結合タンパク質であり、主に小胞体内に局在する。分泌経路に関与し、体液中に放出される。このタンパク質はTリンパ球およびBリンパ球由来の細胞に結合し、シクロスポリンAを介した免疫抑制を制御する可能性がある。このタンパク質には、劣性遺伝型の骨形成不全症を引き起こす変異体が同定されている。[RefSeq提供、2009年10月]触媒活性: ペプチジルプロリン (オメガ180) = ペプチジルプロリン (オメガ0)。,注意: Met-1とMet-9のどちらが開始因子であるかは不明である。,酵素制御: シクロスポリンA (CsA) はCYPBを阻害する。,機能: PPlaseはタンパク質のフォールディングを促進する。オリゴペプチド中のプロリンイミドペプチド結合のシス-トランス異性化を触媒する。,類似性: シクロフィリン型PPlaseファミリーに属する。PPlase Bサブファミリー。,類似性: 1つのPPlaseシクロフィリン型ドメインを含む。,細胞内局在: ステージIからステージIVまでのメラノソーム分画中の質量分析によって同定される。,

研究分野

免疫学

画像データ



CyPB ポリクローナル抗体を用いた K562 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。